

## 報告事項1 令和1年度事業報告に関する件

### 令和1年度 一般社団法人全日本愛鱈会事業報告

(平成31年4月1日～令和1年3月31日)

#### ※ 全 般

令和1年度は事業計画に基づき各担当部の主導によって計画通りの事業が実施されたほか、国内外愛鱈家に対して全日本愛鱈会の存在を高める取り組みが模索された。年度終盤は新型コロナウイルス拡散防止対策のため春の地区品評会等が中止となる等の影響を受けた。

第55回国際錦鯉品評会は中国地区を中心とした会員の尽力により山口県山口市に於いて開催され、国内外の出品者および取扱者からの協力を得たほか、各マスメディアからの取材を受けて多大な成果を収めた。

#### 1. 組織の運営に関する事項

- (1) 定時総会・理事会・定期部会・公認審査員会等諸会議は、計画どおりに開催された。
- (2) 会員数の状況は、国内会員 695 名・国外会員 945 名、総数 1,640 名（前年度比 - 143 名）であった。会員構成比は、国内 42%・国外 58%で昨年度とほぼ同じである。

国内においては、通常会員 39 名の新再入会者を得たものの、総合的には前年度より 45 名の減となった。支部・分会で楽しめる地域活動を奨励し、継続的な課題として若い愛鱈家を育てることが急務である。

国外会員は昨年より減少したものの、多くの地域で錦鯉飼育の周知と飼育の定着がみられる。若い支部へのサポートが必要であろう。

#### 2. 品評会に関する事業

- (1) 第55回国際錦鯉品評会

期日：令和1年11月8日（金）～10日（日）

場所：山口県山口市「やまぐちリフレッシュパーク」

担当：中国地区

協賛：全日本錦鯉振興会

後援：文化庁・山口県・山口市・山口新聞社・NHK 山口放送局・KRY 山口放送・

tys テレビ山口・yab 山口朝日放送・エフエム山口

本品評会の成果 出品者数 261 名（国内 186 名・国外 75 名）

出品尾数 1,455 尾（国内 1,322 尾・国外 133 尾）

本品評会の結果詳細等については、会誌「日鱈」2020年1月号 No.625 に掲載されたほか、本会ウェブサイト上で報告された。

### 3. 調査・研究に関する事業

#### (1) 飼育魚病研究部による講演会の開催

| 期 日  | 場 所      | 内 容  | 参加者 |
|------|----------|--|-----|
| 2月2日 | 東京流通センター | ・「安定化二酸化塩素ビオトークその他について」<br>講師 助川化学(株) 助川 征 | 68名 |

### 4. 普及並びに指導に関する事業

#### (1) 本部主催審査研修会等の開催

| 期 日         | 場 所                  | 内 容   | 参加者              |
|-------------|----------------------|---|------------------|
| 6月16日       | 山口県山口市<br>ホテル ニュータナカ | ・40部紅白5尾による評価<br>*渡辺養魚場協力                   | 50名              |
| 9月21日       | 広島県三原市<br>阪井養魚場      | ・鑑賞審査部研修会<br>紅白および大正三色による評価<br>* (株)阪井養魚場協力 | 鑑賞審査部員<br>その他17名 |
| 2月1日<br>～2日 | 東京都大田区<br>東京流通センター   | ・55部大正三色5尾による評価<br>* (株)阪井養魚場協力             | 94名              |
| 各地区委託審査研修会  |                      | ・各地区等により研修鯉設定                               | 本部統一様式報告         |

(2) 公認審査員補考試を令和2年2月1日に東京流通センターにて実施した。

受験者 国内0名、国外7名

(3) 冊子「錦鯉の飼育と病気対策」を各支部に配布した。

### 5. 社会奉仕に関する事業

(1) 地域施設への錦鯉寄贈、各地の公共施設池や河川等の清掃奉仕、また小中高等学校での錦鯉を通しての日本文化啓蒙活動が各支部有志により行われた。その中でも、「長野県支部による当歳魚の一般への配布による錦鯉飼育推進活動」を活動推進委員会の表彰対象とした。

(2) 冊子「錦鯉の飼育と病気対策」を各支部を通じて一般に配布し防疫対策とした。

## 6. 国際交流に関する事業

(1) 海外支部等の要請に応じて、次のとおり審査員・指導講師等の派遣を行った。

| 期 日      | 派遣先品評会名等                            | 派遣審査員等（敬称略） |
|----------|-------------------------------------|-------------|
| 4/6～7    | 第12回北加支部                            | 山田 幹洋       |
| 4/6～7    | 第2回カロライナ支部                          | 会長賞のみ交付     |
| 5/5      | 第19回香港支部若鯉                          | 会長賞のみ交付     |
| 5/17～19  | 第38回ブラジル支部                          | 会長賞のみ交付     |
| 5/18～19  | 第12回アジアカップ・コイショー                    | 中島 正章・田中 昭次 |
| 5/26     | 第1回シドニー・コイショー<br>(AKA・KSA 支部合同)     | 林 豊廣・藤井 清吾  |
| 6/2      | 第19回西オーストラリア支部                      | 会長賞のみ交付     |
| 6/10     | 第8回オランダ支部若鯉                         | 会長賞のみ交付     |
| 6/29     | 第6回シンガポール支部若鯉                       | 会長賞のみ交付     |
| 7/20～21  | 南アフリカ支部 2019                        | 野地 英司・斉藤 昌治 |
| 7/26～28  | 第39回ノースウエスト支部                       | 会長賞のみ交付     |
| 8/16～18  | 第27回オランダ支部                          | 田中 昭次       |
| 9/6～8    | 第26回ポトマック支部                         | 会長賞のみ交付     |
| 9/6～8    | 第7回TKKG支部                           | 藤井 清吾・岩本 康生 |
| 9/13～15  | 第20回バンドン支部                          | 山崎 美左治・林 豊廣 |
| 9/13～15  | 第18回ノーザンミッドウエスト支部                   | 会長賞のみ交付     |
| 11/22～24 | ジャカルタ支部 2019                        | 吉田 文明・高橋 健彦 |
| 12/21～22 | 第4回台湾錦鯉文化節 2019<br>(台湾地区・フォルモサ支部合同) | 小泉 久司・福田 守  |
| 1/4～5    | 第34回香港支部                            | 会長賞のみ交付     |
| 3/14     | 第22回オールインドネシアコイショー                  | 会長賞のみ交付     |
| 3/14     | 第45回南加支部                            | 中止          |
| 3/14～15  | TKKG支部若鯉 2020                       | 会長賞のみ交付     |

|            |                |
|------------|----------------|
| ※品評会の開催    | 22 回           |
| ※品評会の中止    | 1 回            |
| ※審査研修会の開催  | 3 回            |
| ※会長賞のみ交付   | 12 品評会         |
| ※審査員講師等派遣数 | のべ 16 名(9 品評会) |

## 7. 出版に関する事業

(1) 「日鱗」(和文・英文)を毎月発行した。

## ※処務の概要

### 1. 役員に関する事項

令和2年3月31日現在

| 役 職            | 氏 名       | 就任年月日     | 担 任 職 務   |
|----------------|-----------|-----------|---|
| 理 事<br>(会 長)   | 中 島 正 章   | 平 25.6.9  | 代表理事<br>公認審査員会会長                                |
| 理 事<br>(副 会 長) | 白 坂 大 四 郎 | 令 1.6.15  | 業務執行理事・会長補佐<br>公認審査員会副会長<br>広報出版部出版担当理事         |
| 理 事<br>(副 会 長) | 山 田 幹 洋   | 平 27.6.14 | 業務執行理事・会長補佐<br>公認審査員会副会長<br>国際部担当理事             |
| 理 事<br>(専務理事)  | 山 崎 美 左 治 | 平 25.6.9  | 業務執行理事・会長補佐・本部事務局の掌理<br>公認審査員会幹事<br>広報出版部広報担当理事 |
| 理 事<br>(常務理事)  | 野 地 英 司   | 平 29.6.17 | 業務執行理事・会長補佐<br>公認審査員会幹事<br>品評会事業部担当・東北地区長       |
| 理 事<br>(常務理事)  | 小 西 弦     | 同上        | 業務執行理事・会長補佐<br>公認審査員会幹事<br>総務部長                 |
| 理 事            | 鷹 野 義 男   | 平 25.6.9  | 飼育魚病研究部長・北陸地区長                                  |
| 理 事            | 上 田 正 裕   | 平 27.6.14 | 総務部担当理事・鑑賞審査部部長<br>公認審査員会幹事<br>近畿地区長            |
| 理 事            | 田 中 昭 次   | 平 28.6.5  | 公認審査員会幹事・国際部長                                   |
| 理 事            | 平 田 潤 一   | 平 29.6.17 | 魚病飼育研究部長・鑑賞審査部副部長<br>関東地区長                      |
| 理 事            | 林 豊 廣     | 同上        | 品評会事業部長・鑑賞審査部副部長                                |

|    |         |           |                  |
|----|---------|-----------|------------------|
| 理事 | 森 尻 孝 雄 | 平 30.6.18 | 広報出版部長・品評会事業部副部長 |
| 理事 | 吉 田 文 明 | 令 1.6.15  | 品評会事業部副部長        |
| 理事 | 長 尾 昭 一 | 同上        | 総務部副部長・東海地区長     |
| 理事 | 三 上 彌 六 | 同上        | 鑑賞審査部副部長・中国地区長   |
| 理事 | 大 塚 皓 司 | 同上        | 総務部副部長・四国地区長     |
| 理事 | 森 本 洋   | 同上        | 飼育魚病研究部副部長       |
| 監事 | 小 泉 久 司 | 令 1.6.15  | 定款第 24 条の職務      |
| 監事 | 山 場 進 一 | 同上        | 同上               |
| 監事 | 栗 武 照   | 同上        | 同上               |

### 3. 会員に関する事項

令和 2 年 3 月 31 日現在

| 会 員 別   | 国 内 | 国 外 | 計     | 前年度との比較 |
|---------|-----|-----|-------|---------|
| 本 部 会 員 | 143 | 0   | 143   | -11     |
| 通 常 会 員 | 519 | 945 | 1,464 | -129    |
| 賛 助 会 員 | 33  | 0   | 33    | -3      |
| 計       | 695 | 945 | 1640  | -143    |

物 故 者 (敬 称 略)

|          |            |
|----------|------------|
| 京都府支部会員  | 清水 吉照      |
| 滋賀県支部会員  | 玉川 一雄      |
| 滋賀県支部会員  | 飛田 博司      |
| 島根県支部会員  | 土江 幸二      |
| AKA 支部会員 | テレンス・マクニール |

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

#### 4. 役員会等に関する事項

##### (1) 理事会

| 期日・場所                              | 議案事項  | 会議の結果  |
|------------------------------------|---|--|
| <p>5/11～12<br/>(第33回)<br/>於：東京</p> | <p>1. 第7回定時総会および理事会について<br/>(1)日程・会場の確認</p> <p>(2)平成30年度事業報告<br/>(3)平成30年度計算書類(案)<br/>貸借対照表及び正味財産増減計画書<br/>公益目的支出計画実施報告書<br/>(4)令和1年度事業計画・予算書(修正予算)</p> <p>(5)公益目的支出計画の終了年度延長について</p> <p>(6)役員改選に関する事項について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 公認審査員審議会での重要案件について</p> | <p>○前回理事会において既に承認済みである第7回定時総会等の日程について確認が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7回定時総会：<br/>令和1年6月15日14:10～15:40<br/>山口市 ホテル・ニュータナカ</li> <li>・第34回理事会：<br/>令和1年6月15日16:00～16:20<br/>山口市 ホテル・ニュータナカ</li> <li>・第35回理事会：<br/>令和1年6月15日16:30～17:50<br/>令和1年6月16日13:30～14:30<br/>山口市 ホテル・ニュータナカ</li> </ul> <p>○原案のとおり総会報告が承認された。<br/>○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○原案のとおり総会提案が承認された。<br/>中島会長より、国際展の支出については予算書に則り実施計画を進める事、また、小千谷で開催される大会の担当地区経費はマニュアル化を行う事により、大会ごとに経費の扱いが異なる事のないようにとの提言がなされた。</p> <p>○公益目的支出計画については、予定されている令和2年3月末終了が難しい状況となったため、令和4年3月末までの2年延長が望ましいとの監査報告を受け、この賛否を諮ったところ、全員異議なく、公益目的支出計画終了期限の延長申請が承認され、総会提案とした。</p> <p>○事務局長より2月3日に開催された役員候補選考委員会の報告が行われた。九州地区は地区協議会が未開催である事、東海地区は北川副会長急逝による補充理事候補の推薦には至っていない事が報告された。</p> <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承認1名：谷崎 力(徳島県)</li> <li>・通常会員への異動3名：<br/>山本 毅(神奈川県)、清水 美仁(神奈川県)<br/>柳川 詔一(兵庫県)</li> <li>・退会なし</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>&lt;審議会その他の報告事項より&gt;</p> <p>(1)公認審査員審議会の結果報告</p> <p>(2)表彰審査委員会の結果報告</p> <p>(3)魚病冊子の作成と配布について</p> <p>(4)第 55 回国際錦鯉品評会について</p> <p>(5)第 56 回国際錦鯉品評会について</p> <p>(6)公認審査員役員会の結果報告</p> <p>(7)その他</p> | <p>○公認審査員審議会の結果のうち重要案件の討議が行われた。山崎専務より、中国広東支部の梁康民会員の公認審査員資格に関して、2月理事会時に実施された本人への聴聞内容についての調査報告ならびに本人の弁明書が読み上げられた。これを受けて、梁氏の処分について理事会での個別決議を行うべきかを諮ったところ、全員異議なくこれに賛成した。引き続き、審議会での資格取消しの結果について諮ったところ、全員異議なく承認とした。</p> <p>○海外の審査員で複数支部に所属していたり、申請時に支部移動を行う事例が報告された。これについては、審査員は支部会員のまとめ役を担っていく立場である事から、正当な理由のない支部移動や書類上の支部会員の名義貸しが疑われる場合には、調査を行ったうえで相当の対応を取ることが確認された。</p> <p>○イーストタイ支部のサラブット・プラパカモル会員の地方公認審査員資格についても取り消し処分が承認された。</p> <p>○上田理事より公認審査員審議会での審査員資格認定結果が報告された。(結果内容については、公認審査員審議会の会議結果の項を参照)</p> <p>○第 7 回定時総会時での被表彰者が下記のとおり報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日鱗賞：三宅 信昭 (広島県)</li> <li>・功労者表彰：中西 忠司 (広島県)</li> <li>・模範支部表彰：福島県支部、南アフリカ支部</li> <li>・部活動表彰：平田 潤一 (飼育魚病研究部)</li> <li>・国際展担当地区表彰：北陸地区</li> <li>・会員更改 100%：三重県支部、兵庫県支部</li> <li>・協力者表彰：吉田 隆一 (日本動物薬品株)</li> </ul> <p>○平成 30 年度事業として作製した A4 判冊子「錦鯉の飼育と病気対策」を非売品として国内会員すべてに配布したほか、公益事業として支部を通じ活用する事とした。</p> <p>○山田常務より、会場のやまぐちリフレッシュパークでの国際展時の水槽水確保については問題ない事が報告された。</p> <p>○野地常務より、全日本錦鯉振興会の平澤理事長と伊佐新潟地区長を第 56 回国際展の協力要請のために訪問した事が報告された。</p> <p>○第 7 回公認審査員総会への提出書類について、平成 30 年度事業報告、平成 30 年度収支計算書 (案)、令和 1 年度事業計画及び収支</p> |
|--|--|--|

|                                     |   |  |
|-------------------------------------|---|--|
| <p>6/15<br/>(第34回)<br/>於：山口市</p>    | <p>1. 代表理事および業務執行理事の選定について</p>  | <p>予算書の報告が原案のとおり承認された事が報告された。</p> <p>○山崎専務より、公認審査委員会会則について、発足当時からの文言等が現状に即さない部分が見られるため改訂の必要性が指摘された。</p> <p>○9月に予定されている鑑賞審査部研修会は阪井養魚場で計画である事が報告された。</p> <p>○第7回定時総会において選任された17名の理事の中から中島正章理事が代表理事に選定され、引き続き会長に就任した。続いて中島会長が議長となり業務執行理事の選定が行われた。</p> <p>会長：中島 正章<br/>副会長：白坂 大四郎、山田 幹洋<br/>専務理事：山崎 美左治<br/>常務理事：野地 英司、小西 弦</p>  |
| <p>6/15~16<br/>(第35回)<br/>於：山口市</p> | <p>1. 次回以降の理事会開催日程について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 各部会の担当役員について</p> | <p>○第36回～第38回理事会の開催について、下記のとおり開催することが承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第36回理事会<br/>令和1年9月22日<br/>広島県三原市 榎阪井養魚場</li> <li>・第37回理事会<br/>令和1年11月8日(金)<br/>山口市やまぐちリフレッシュパーク</li> <li>・第38回理事会<br/>令和2年2月1～2日<br/>東京流通センター</li> </ul> <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承認なし</li> <li>・通常会員への異動2名：<br/>岡本 慈勝(徳島県)、田辺 博三(広島県)</li> <li>・退会2名：<br/>高橋 立志(栃木県)、角南 修一(岡山県)</li> </ul> <p>○中島会長より推薦を受けた各部会の担当役員について、下記のとおり承認された。</p> <p>総務部：(担当理事) 上田 正裕<br/>(部長) 小西 弦<br/>品評会事業部：(担当理事) 野地 英司<br/>(部長) 林 豊廣<br/>国際部：(担当理事) 山田 幹洋<br/>(部長) 田中 昭次<br/>飼育魚病研究部：(担当理事) 鷹野 義男<br/>(部長) 平田 潤一<br/>鑑賞審査部：(部長) 上田 正裕<br/>広報出版部：(出版担当理事) 白坂 大四郎</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>4. 海外友好クラブの承認</p> <p>5. 第 55 回国際錦鯉品評会の実施要項について</p> <p>&lt;総会・部会その他の報告事項より&gt;</p> <p>1. 第 7 回定時総会の質問を受けて</p> <p>2. 各部会その他の報告</p> <p>(1)総務部会</p> <p>(2)品評会事業部会</p> | <p>(広報担当理事) 山崎 美左治<br/>活動推進委員会：(委員長) 山田 幹洋<br/>(委員) 平田 潤一</p> <p>○資料に基づき、プエルトリコの愛鯉家グループの説明が行われ、下記のとおりアメリカ地区に所属する友好クラブとして承認された。<br/>プエルトリコ友好クラブ (会員 10 名)：<br/><b>Puerto Rico ZNA Friendship Club</b><br/>(支部長) <b>Wanda Santiago</b></p> <p>○第 55 回国際錦鯉品評会の実施要項については第 54 回の要項から特別賞等の変更を行ったものであり、特に大きな変更はない事が説明され、この要項案が承認された。追加変更が生じた場合には 9 月理事会での修正承認とする事とした。</p> <p>○定時総会において、国際展入賞協力金に関しての質問がなされた件について討議が行われた。平田理事は、第 54 回大会では 1,500 尾の出品数を得て収支結果が良好であったが、将来も同様な結果が得られるとは限らないので、入賞協力金制度の継続が望ましいとの意見を述べた。白坂副会長からは、全体総合優勝者からは入賞協力金の趣旨の理解を得やすいが、入賞が重なる場合は負担に思う入賞者もいるであろうとの意見が出された。入賞協力金はパーティーへの招待券を兼ねており、懇親会開催費用への充当費とも考えられる事から、入賞協力金制度はこのまま存続とすることとした。</p> <p>○小西理事より、支部運営に関しては錦鯉を楽しめるような環境作りが基盤であるとの見解が述べられた。国内会員の所属支部移動については、これまでのとおり双方の支部長の了承により認める方向で良いであろうとの総務部会意見が報告された。ただし、地区をまたがる場合には地区長にも報告を行う事、会費の徴収については受け入れた支部が責任を持って行う事などが確認された。海外では所属支部の安易な移動が問題になっている事から、審査員資格に関係する場合は公認審査員審議会および理事会により判断とする事とした。</p> <p>○林理事より、国際展に関して下記の報告が行われた。<br/>・特別賞「山吹黄金」は審査段階で該当魚を抽出し審査する。<br/>・サイズオーバーについては第 54 回同様に厳しく対処する。</p> |
|--|--|--|



|                                  |  |   |
|----------------------------------|--|---|
|                                  |  | <p>ただ方針が発表された。</p> <p>○中島会長より、会誌「日鱗」の将来の展望について、早々の取り組みが必要であることが提言された。</p>   |
| <p>9/22<br/>(第36回)<br/>於：三原市</p> | <p>1. 理事会の開催の確認について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第55回国際錦鯉品評会について</p> <p>4. 海外友好クラブの承認について</p> | <p>○前回理事会で承認された、第37回および第38回理事会の日程および会場について確認が行われた。国際展搬入日の理事会については、国際展審査員の承認を主たる議題とする事とした。</p> <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承認1名：櫻井 渉</li> <li>・通常会員への異動なし</li> <li>・退会なし</li> </ul> <p>○山崎専務より、資料に基づき第55回国際展の大会要綱、予算書、大会役員、出品目標等について説明が行われた。大会要項については前回理事会で承認されているため、若干の文言訂正が行われ了承された。予算に関連して、設営経費・人件費が予算経費の範囲内で進行しているかどうかを担当地区に対して確認が行われた。これを受けて山田副会長より、当初の計画の見直しを行って対応しているとの返答がなされた。山崎専務より、支出については第53回神戸大会の明細書を参考にするように助言が行われた。中島会長は、設営に関しては経費を含め、担当支部が責任を持ってあたるように指示した。</p> <p>○大会名誉顧問には、矢野哲朗元参議院議員、高井崇志衆議院議員、江島潔参議院議員、平澤久司振興会理事長をお願いしており、了済みである事が報告された。</p> <p>○大会担当の中国地区会員であるものの、その他の役員人事を鑑み山田副会長が審査員長に最適任であるとの推薦を受け、これが承認された。その他審査員の選定については、例年は全理事による推薦方式が取られていたが、8月の事前アンケートにより参加可能審査員の不足が憂慮されたために、公認審査員会および鑑賞審査部により候補を選抜する事とし、この方法が了承された。また、審査員の不足の場合には中国地区からも審査員をお願いする事も念頭に入れている事も説明された。海外の公認審査員からの国際展審査員の選抜については、航空券の手配等の便宜から、次年度からは国内審査員とは別に、5月に来日可能の可否を尋ねたうえで、6月までに選考することが提案され、これが了承された。</p> <p>○三上中国地区長より、各地区に対して出品協力要請が行われた。</p> |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | <p>5. 第 56 回国際錦鯉品評会について</p> <p>&lt;その他の報告事項&gt;</p> <p>(1) 常務以上役員からの報告について</p> <p>(2)業務執行役員による業務報告</p> <p>(3)鑑賞審査部会からの報告</p> <p>(4)海外品評会派遣審査員へ旅費助成金についての報告</p> <p>(5)海外支部の諸問題に関する報告</p> | <p>○資料に基づき、台湾の玉山錦鯉グループの説明が行われ、下記のとおり友好クラブとして承認された。</p> <p>台湾玉山友好クラブ（会員 10 名）：<br/> <b>Taiwan Yushan Friendship Club</b><br/> （支部長）李 宗憲</p> <p>○野地常務より、伊佐振興会新潟地区長と連絡を取りながら進行している事が報告された。</p> <p>○常務以上役員会より、次のような提案がなされ今後の対処事項とする事とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際展のポスター掲載料の 30 万円については、受賞時に受賞者と取り扱い業者に周知していただく。</li> <li>・国際展の担当地区は、開催準備を開始するにあたって、同地区の振興会地区長との協議のうえで開催地を決定し、協力要請を行う。</li> <li>・ジュニアサポーター制度については、住所氏名の登録のうえで、その活動状況に対して助成金の検討を考慮する。</li> <li>・支部展はできるだけ、国際展の日程を避けていただく。</li> <li>・国内会員の所属支部移動については諸事情を考慮して対処する。</li> </ul> <p>○各常務以上役員より、令和 1 年度 6 月～8 月の業務執行報告が行われた。</p> <p>○上田理事より、国際展については消費税増税の影響が予想されるため、出品料の変更を含め出品品種区分の変更を品評会事業部と連携しながら、その検討に着手する事が報告された。</p> <p>○公認審査員補の申請要件では、各審査員の支部活動状況も踏まえて受付を行い、当日の考試においても内容充実を図る他、試験中はスマートフォンを預ることとした。</p> <p>○事務局より、令和 1 年度の海外品評会審査員への旅費助成額が報告された。6 月の公認審査員会の予算承認を受けて、平成 1 年度は以下の助成金を実施される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジア方面：1 万円</li> <li>北米・欧州・豪州：4 万円</li> <li>オランダ（8 月中旬の場合）：5 万</li> <li>南アフリカ：7 万円</li> <li>ブラジル：10 万</li> </ul> <p>○田中理事より、海外支部の懸案事項について次のような報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部からの数回にわたる通達により、シンガポール支部からは今年度の会費が納入されたものの、依然、審査員資格保有者の過去</li> </ul> |
|--|---|---|

|                         |                             |  |
|-------------------------|-----------------------------|--|
|                         | (6)その他の報告                   | <p>会費の未納があるため、引き続き支部長へ是正を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルギー支部については、田中理事自身がオランダ支部品評会時にベルギー支部デビッテ支部長に会員管理を行う事務担当者を設置するように求めたが、9月の段階で実行されていない。</li> <li>・インドネシアのスラバヤ支部が解散状態であるので、マイケル・チェン会員が香港支部への移動を希望しているが、公認審査員補の資格等については、公認審査員審議会に委ねる方向である。</li> <li>・北加支部が、アメリカ地区ナショナル・コイショーの開催を希望しているが、アメリカ地区の支部長会では反対の結論であるため、当面は支部長会の結論を支持し、今後の動向を見極める。</li> </ul> <p>以上のような問題にも対応するため、田中理事が中心となって、海外支部運営に関する指導書を作成し、2月のインターナショナル・ミーティングで提案することとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○山崎専務より、事務局体制については現事務局長の白子職員が来年4月で退職となり、次期事務局長には岡本裕文職員が担うため、10月より経理担当者を新たに採用する予定である事が報告された。</li> <li>○林理事より、一度退会して再入会する会員の以前の審査員資格について質問がなされた。退会により審査員資格を喪失した場合、再入会においては最初からの資格申請となる事が確認された。</li> </ul> |
| 11/8<br>(第37回)<br>於：山口市 | 1. 第55回国際錦鯉品評会の審査員編成その他について | <ul style="list-style-type: none"> <li>○審査班の最終編成表の提示が行われ、異議なく承認された。名誉審査員長の江島潔参議院議員のご出席が報告された。審査補助員の不足している班には山口県支部会員から補充する事とした。</li> <li>○式典等のプログラムの資料が示され、各役員の担当業務についての説明が行われた。</li> </ul>   |
| 2/1~2<br>(第38回)<br>於：東京 | 1. 令和2年度諸会議等開催日程について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度前半(2020年4月~)の諸会議開催日程について下記のとおり承認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和1年度の監査業務<br/>4月17日<br/>別府市 本部事務局</li> <li>・第39回理事会等<br/>5月16~17日<br/>大阪市 ハートン北梅田</li> <li>・第8回定時総会、第40回理事会および研修会等</li> </ul> </li> </ul>   |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第 55 回国際錦鯉品評会の結果および収支決算報告について<br/>(1) 担当地区経費および収支計算書について</p> <p>(2) 審査について</p> <p>4. 令和 2 年度事業計画・収支予算について</p> | <p>6 月 20～21 日<br/>新潟県 長岡市</p> <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・承認 1 名：村上 文朗（山口県）※4 月より</li> <li>・通常会員への異動 1 名：橘 實（大分県）<br/>※4 月より</li> <li>・退会 1 名：松崎 忠夫（千葉県）</li> <li>・ご逝去 1 名：清水 吉照（京都府）</li> </ul> <p>○資料に基づき、第 55 回国際展の収支計算書(案)について説明が行われ、担当地区である中国地区関係経費について討議が行われた。山崎専務は当初の予算計画と比較して、かなり乖離した経費が支出された点を指摘したうえで、発注業者への費用はすでに支払われており、その金額は計算書からの変更はできないが、今後の国際展では支出計画をもっと慎重に行うべきである、との見解を述べた。他の理事からも、設営費に関して、プール組立費が 1 プールにつき 5,000 円と割高である事や、複数業者に発注したために過去の地区独自開催国際展と比較して掛かりすぎは否めない、との意見が出された。山崎専務より、それぞれの地区で事情が異なり、地方はアルバイトが集まりにくい等の事情もあり、近畿地区の神戸大会とは単純比較はできないが、業者は高額の見積もりを提示してくるのが常であるので、次回からは業者への見積もりの段階で相談して欲しいとの提言がなされた。</p> <p>○中島会長は、今回はこれで決算するとしても、次回からは支出に充分留意し、将来の会費値上げを回避するためにも、500 万円の収益目標を念頭に入れて国際展運営を担っていただきたいと述べた。これらの討議を経て、第 55 回国際展の収支計算書について決議を求めたところ、全員異議なく原案とおりに承認された。</p> <p>○山崎専務より、対象品種でない鯉がジパング賞に入賞したため、日鱗誌 1 月号に会長名にて謝罪文を掲載した経緯が報告された。審査間違いへの対応として、過去の事例を検証したうえで上田鑑賞審査部長がすでに改正案を提案中であることが報告された。事務局長より、第 56 回大会では入賞記録の際に誤品種の入力を防ぐシステム変更を O C S 社に対して発注する予定である事が報告された。</p> <p>○山崎専務より、今回審議を受ける令和 2 年度の収支予算は 4 月 1 日からの業務執行に係</p> |
|--|---|---|

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>5. 第 56 回および第 57 回国際錦鯉品評会について</p> <p>6. 国際錦鯉品評会の経費について<br/> (1)小千谷会場開催の設営費用について</p> <p>(2)国際展の種別区分変更について</p> | <p>わるものであり、令和 1 年度分決算後に算出された修正予算案が 5 月理事会に議案として出されるものである事が説明された。一般会計の令和 2 年度収支予算案および事業計画は全員異議なく承認となった。また、公認審査委員会の令和 2 年度事業計画・収支予算が示され、原案のとおり 5 月の公認審査委員会へ提示されることが承認された。</p> <p>○第 56 回国際錦鯉品評会<br/> 令和 2 年 11 月 13～15 日<br/> 小千谷市総合体育館<br/> 東北地区長の野地常務より、特別賞の品種については早急に意見調整し決定するとの報告が行われた。</p> <p>○令和 3 年 11 月開催予定の第 57 回国際錦鯉品評会について、会場提供および設営協力をタニ養魚場へお願いする事が承認された。これを受け、同養魚場へ正式の依頼書の送付する事とした。</p> <p>○山崎専務より、小千谷で開催する国際展での全日本錦鯉振興会新潟地区へ拠出する設営費について、前回の 648 万円から 750 万円の増額要望がなされている事が報告された。設営費については、これまでの振興会新潟地区役員と協議のうえ金額を決めてきた経緯から、伊佐地区長に参加していただいて討議することとなった。中島会長は、消費税増税分は検討の範囲内であるが、一気に 100 万円増は会の運営の面からも厳しいものがあると回答した。これに対して伊佐地区長は、以前の大会と比べて設営プールが大幅に増加して経費・労務時間が嵩んでいる点を考慮していただきたいと述べた。双方からの意見交換を経て、上限プール数を定めた基本設営費を 700 万円とし、超過プール分の費用を別途支払う事で双方の同意を得た。上限プール数と超過料金については、後日、伊佐地区長より提案いただき、検討する事とし、一同了承した。</p> <p>○上田理事より、出品種別区分変更について改正案が提案され、主として五色をジパング賞のグループへ変更する事、ジパング賞品種とグループ 2 の品種を統一する事が説明された。これにより出品種別は 22 品種となる。詳細は、上田理事により明確な表が作成され、早急に日鱗誌へ掲載し全会員への周知を図るものとした。</p> |
|--|---|--|

|  |  |
|--|--|
| <p>7. 報告事項</p> <p>(1)業務執行理事による業務報告</p> <p>(2)公認審査員審議会の結果報告</p> <p>(3)品評会事業部会の結果報告</p> <p>(4)総務部会の結果報告</p> <p>(5)国際部会の結果報告</p> <p>(6)出版部会の結果報告</p> <p>(7)活動推進委員会および支部長会</p> | <p>○平田理事は、出品区分を間違っ失格とならないためにも、支部展・地区展においても統一する事が望ましいとの意見を述べた。林理事からは、これまでどおり国際展受付時に鑑賞審査部による品種チェックを行う事が確認された。</p> <p>○各常務以上役員会より、令和1年9月から令和2年1月までの業務執行状況の報告が行われた。</p> <p>○上田理事より公認審査員審議会の結果が報告された。(結果内容については、公認審査員審議会の会議結果の項を参照)</p> <p>○林理事より、第55回国際展での反省点や要望が以下のとおり報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・袋審査では班によって検寸の対応がまちまちであったので、次回より審査開始時に全班で検寸対応するような措置が必要と思われる。</li> <li>・袋審査では入賞シールは必ず出品票に貼る。</li> <li>・三上理事考案の袋詰め用ポンプが好評であった。</li> <li>・入賞協力金のシステムは継続が望ましい。</li> <li>・審査員には服装等を正しく着用してもらいたい。</li> <li>・大会リーフレットを宣伝に使いたい。</li> <li>・当日の出品変更をさらに容易にするためにはジパング賞出品料を同額にする事が必要と思われる。</li> </ul> <p>○小西常務より、津山商業高校で実物審査研修会形式の錦鯉の講義を行った事が紹介された。また、ジュニア・サポーター制度については、本部での登録制ではなく、まず支部単位で稚魚配布等を行って裾野を広げることが望ましいとの結論が達した事が報告された。</p> <p>○田中理事より、海外会員を交えたインターナショナル・ミーティングでは次のような周知を行った事が報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外支部は英語または日本語でコミュニケーションを取れる担当者を置く。</li> <li>・会員更改と会費納入を遅くとも12月末に完了する。</li> <li>・支部役員の異動は速やかに報告する。</li> <li>・国内審査員の派遣要請は必ず本部を通す。</li> <li>・品評会開催後は必ず結果報告を行う。報告のない場合は参加審査員の経歴としては記</li> </ul> |
|--|--|

|  |     |   |
|--|-----|---|
|  | の報告 | <p>録されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査員資格を有する会員が正当な理由なく所属支部を移動した場合は、審査員として何らかの制限を受けるものとする。</li> <li>・審査員はその活履履歴を本部に報告する。また、山崎専務より、海外支部長に対して、品評会への審査員派遣は公平に行うようにと提言が行われた事が報告された。</li> </ul> <p>○白坂副会長より、日鱗誌の内容充実のために役員はもとより会員からの投稿協力が不可欠であるとの要請が行われた。</p> <p>○山田副会長より、令和1年度の活動活性委員会表彰の対象として下記の事業が支部長会で選考されたことが報告され、全員異議なくこれを承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県支部による当歳魚の一般配布による錦鯉飼育推進活動</li> </ul> <p>○ジュニア・サポーター登録制度に関して支部長会では否定的な意見が多く、ジュニア愛鯉家の育成は支部単位で行うのが妥当という結果を得た事が報告された。子供たちの育成に異論があるわけではなく、メリット・デメリットを洗いだし意見統一を図ってからの対応が望ましいとの意見が出された事が吉田理事より説明された。これを受け中島会長は、登録制度についてはその影響を充分考慮し、場合によっては条件を付ける等の対応が必要であるので、今回の実施を見送るのが妥当と述べた。</p> |
|--|-----|---|

(2) 監 査

| 期日・場所        | 監 査 事 項                  | 結 果  |
|--------------|--------------------------|--|
| 4/19<br>於：別府 | 1. 平成30年度収支決算並びに業務全般について | ○収支決算書に加え、平成25年度決算より内閣府への提出が義務付けられている公益目的支出計画実施報告書の監査が実施された。計画では2020年3月31日までの終了であるが、決算報告および次年度予算計画書により、終了年度の2年延長の申請が提言された。 |

(3) 総 会

| 期日・場所                  | 議 案 事 項   | 会 議 の 結 果   |
|------------------------|---|---|
| 6/15<br>(第7回)<br>於：山口市 | 1. 平成30年度事業報告に関する件<br>2. 平成30年度計算書類承認に関する件<br>3. 令和1年度事業計画及び予算に関する件 | ○事業報告の内容が報告された。<br>○原案のとおり承認可決された。<br>○事業計画及び予算の内容が報告された。 |

|  |               |  |
|--|---------------|--|
|  | 4. 役員の選任に関する件 | <p>○役員候補選考委員会を代表して岸本史郎委員長より役員候補が推薦され、候補者ごとに選任決議が行われ、下記のとおり役員が承認可決された。</p> <p>理事：</p> <p>吉田 文明（岩手県）<br/> 野地 英司（福島県）<br/> 森尻 孝雄（栃木県）<br/> 平田 潤一（埼玉県）<br/> 鷹野 義男（石川県）<br/> 長尾 昭一（三重県）<br/> 山崎 美左治（滋賀県）<br/> 田中 昭次（大阪府）<br/> 中島 正章（兵庫県）<br/> 上田 正裕（兵庫県）<br/> 白坂 大四郎（奈良県）<br/> 小西 弦（岡山県）<br/> 林 豊廣（山口県）<br/> 山田 幹洋（山口県）<br/> 三上 彌六（山口県）<br/> 大塚 皓司（徳島県）<br/> 森本 洋（高知県）</p> <p>監事：</p> <p>小泉 久司（山形県）<br/> 山場 進一（越前）<br/> 栗 武照（岡山県）</p> <p>上記役員の任期は、承認可決より令和 3 年 6 月予定の定時総会までとなる。</p> <p>*総会后、一般社団法人に関する法律に則り、新理事を召集した理事会にて、上記の新役員により代表理事（会長）および業務執行理事の選定が行われた。</p> |
|--|---------------|--|

(4) 公認審査員会総会

| 期日・場所                     | 議 案 事 項   | 会 議 の 結 果   |
|---------------------------|---|---|
| 6/ 15<br>(第 7 回)<br>於：山口市 | 1. 平成 30 年度事業報告について<br>2. 平成 30 年度収支計算書について<br>3. 令和 1 年度事業計画及び予算について | ○事業報告の内容が報告された。<br>○原案のとおり承認可決された。<br>○事業計画及び予算書が報告された。 |

(5) 公認審査員審議会

| 期日・場所         | 議 案 事 項                                | 会 議 の 結 果   |
|---------------|--|---|
| 5/ 11<br>於：東京 | 1. 審査員の登録取消について<br><br>2. 審査員の資格認定について | ○登録取消<br>・名誉公認審査員 1 名<br>・公認審査員 4 名<br>・公認審査員補 1 名<br>・地方公認審査員 7 名<br><br>○公認審査員の認定 7 名 |

|             |   |  |
|-------------|---|--|
|             | 3. 名誉公認審査員の理事会への推薦                        | 岸本 史郎 (兵庫県)<br>山場 進一 (越前)<br>高橋 健彦 (山形県)<br>張 佐偉 (香港)<br>Duc Thy Nguyen (トライステート)<br>Chai Taevanitcharoen (南加)<br>Toën Feyen (オランダ)<br>○地方公認審査員の認定 5名<br>谷崎 力 (徳島県)<br>赤畑 浩 (埼玉県)<br>廖 參勝 (台湾愛鯉)<br>林 文隆 (台湾フォルモサ)<br>郭 仲育 (台湾楊梅)<br><br>○名誉公認審査員の推薦 なし                          |
| 2/1<br>於：東京 | 1. 審査員の資格認定について<br><br>2. 名誉公認審査員の理事会への推薦 | ○公認審査員補の合格認定 7名<br>Mark Kleijkers (オランダ)<br>Erwin C. Santos (ノースウエスト)<br>蔡 振富 (台湾楊梅)<br>Dean Britz (南アフリカ)<br>Lee Tuan Nguyen (AKA)<br>Shiu Hong Miki Mo (西オーストラリア)<br>Sombat Rattananai (プーケット南タイ)<br>○地方公認審査員の認定 2名<br>村上 文朗 (山口県)<br>Ruud Besems (オランダ)<br><br>○名誉公認審査員の推薦 なし |

(6) 公認審査員会役員会

| 期日・場所        | 議案事項  | 会議の結果   |
|--------------|---|---|
| 5/11<br>於：東京 | 1. 第7回公認審査員会総会の開催日程・場所について<br>2. 第7回公認審査員会総会への提出議案について<br>(1)平成30年度事業報告<br>(2)平成30年度収支計算書<br>(3)令和1年度事業計画及び収支予算報告 | ○原案のとおり日程・場所が承認された。<br><br>○原案のとおり報告事項が承認された。<br>○原案のとおり総会提案が承認された。<br>○原案のとおり報告事項が承認された。 |

(7) 部 会

| 期日・場所         | 部 会 名 | 主 な 協 議 事 項               |
|---------------|-------|---------------------------|
| 6/16<br>於：山口市 | 総 務 部 | ・若年会員の獲得について<br>・賛助会員について |

|               |         |   |
|---------------|---------|---|
|               | 品評会事業部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 55 回国際錦鯉品評会について</li> <li>・特別賞「山吹黄金」の対応について</li> <li>・入賞協力金について</li> </ul>       |
|               | 国 際 部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外会員の審査員資格について</li> <li>・海外品評会への審査員派遣について</li> </ul>                              |
|               | 飼育魚病研究部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の魚病の動向について</li> </ul>  |
| 9/16<br>於：三原市 | 鑑賞審査部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際展審査要領および手順</li> <li>・部員を対象とした実物審査研修会の実施（㈱阪井養魚場）</li> </ul>                      |
| 2/1<br>於：東京   | 総 務 部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア・サポーター登録制度について</li> </ul>   |
|               | 品評会事業部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 55 回国際展山口大会の反省<br/>（袋審査、指定ビニール袋、品種区分、審査の反省等）</li> <li>・第 56 回国際展に向けて</li> </ul> |
|               | 出 版 部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日鱗誌の活性化について</li> </ul>  |
|               | 国 際 部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外会員との交流及び意見聴収<br/>（研修会制度、国際展補助員、審査員の申請要件）</li> </ul>                             |

(8) 委員会等

| 開 催 会 名   | 回 数 | 開 催 会 名 | 回 数 |
|-----------|-----|---------|-----|
| 常務以上役員会   | 5回  | 表彰審査委員会 | 1回  |
| 役員候補選考委員会 | なし  | 地区長会    | 5回  |

(9) 特別委員会

| 委 員 会 名 | 委 員                  | 活 動 内 容                           |
|---------|----------------------|-----------------------------------|
| 活動推進委員会 | 山田 幹洋 (委員長)<br>平田 潤一 | 社会事業活動の推進<br>支部長会と連動し活動推進委員会表彰の選定 |